

文部科学省 中小企業イノベーション創出推進事業（SBIR フェーズ3）  
宇宙分野（事業テーマ：民間ロケットの開発・実証）の  
ステージゲート審査結果について

令和6年9月19日  
文部科学省  
一般社団法人低炭素投資促進機構

令和4年度補正予算「中小企業イノベーション創出推進事業（文部科学省分）」の宇宙分野の事業テーマ（民間ロケットの開発・実証）について、外部有識者から構成されるステージゲート審査委員会において、以下の通り、計3件の事業フェーズ2（注）への移行を決定しました。

（注）事業テーマについては令和8年3月末までを事業フェーズ2としています。事業フェーズ3への移行は、予算額も含め、今後のステージゲート審査において判断することとなります。

○事業テーマ「民間ロケットの開発・実証」

- ・ステージゲート審査件数：4件
- ・フェーズ2への移行件数：3件
- ・審査結果：書面審査を実施し、その後プレゼンテーション審査を実施。

（詳細は別添1、審査委員は別添2の通り）

(別添1)

## 「民間ロケットの開発・実証」事業の概要とステージゲート審査結果

代表スタートアップ：インターステラテクノロジズ株式会社 事業計画名：小型人工衛星 打上げロケット ZERO の技術開発・飛行実証 フェーズ1 事業期間：～令和6年9月末 フェーズ1 交付額上限：20.0 億円 フェーズ2 事業期間：～令和8年3月末 フェーズ2 交付額上限：46.3 億円
代表スタートアップ：将来宇宙輸送システム株式会社 事業計画名：小型衛星打上げのための再使用型宇宙輸送システムの開発・実証 フェーズ1 事業期間：～令和6年9月末 フェーズ1 交付額上限：20.0 億円 フェーズ2 事業期間：～令和8年3月末 フェーズ2 交付額上限：50.0 億円
代表スタートアップ：スペースワン株式会社 事業計画名：増強型ロケットの開発、打上げ実証及び事業化 フェーズ1 事業期間：～令和6年9月末 フェーズ1 交付額上限：3.2 億円 フェーズ2 事業期間：～令和8年3月末 フェーズ2 交付額上限：12.3 億円

※上記の掲載順は、応募申請順に基づくものである。

(別添2)

事業テーマ：民間ロケットの開発・実証  
ステージゲート審査委員会 委員名簿

(敬称略、五十音順)

(委員長)

上田 嘉紀 株式会社脱炭素化支援機構 取締役 専務執行役員

(副委員長)

松尾 亜紀子 慶應義塾大学 理工学部 機械工学科 教授

(委員)

笠原 次郎 名古屋大学 未来材料・システム研究所 システム創成部門 教授

津田 佳明 ANA ホールディングス株式会社 執行役員 未来創造室長  
兼 新規事業開発部長

西村 竜彦 Frontier Innovations 株式会社 代表取締役社長 ジェネラルパートナー

姫野 武洋 東京大学 大学院工学系研究科 航空宇宙工学専攻 教授